

議員団 ニュース

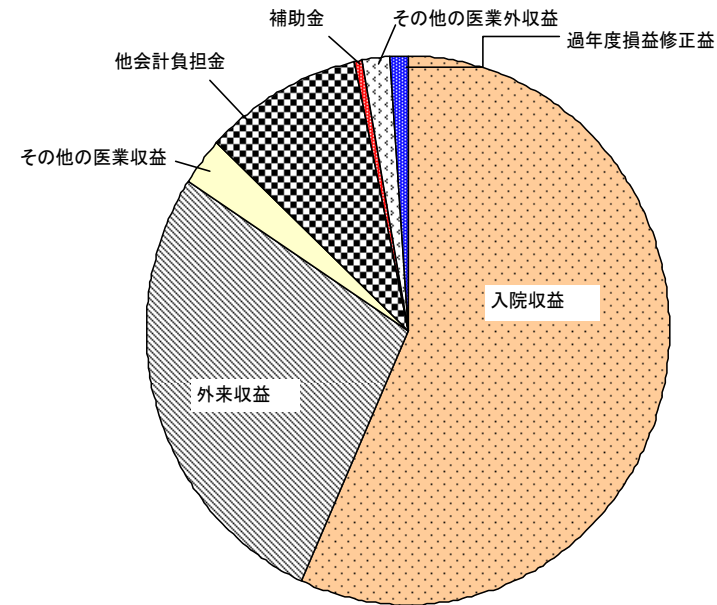
日本共産党平塚市議会議員団

団長 渡辺 敏 光
 電話・fax 31-6431
w-toshi@agate.plala.or.jp
松本 敏 子
 電話・fax 59-4607
mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党平塚市議会議員団
 電話 0463-23-1111 (内線 2375)
 平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室
No.1095 2010年10月24日発行

日本共産党議員団の法律相談
今回は11月13日(土)です。
 午後1時から (要予約)

2009年度 平塚市民病院事業決算 事業収入



市民病院の収益的収入と支出 単位:円

医業収益	入院収益	5,832,821,494
	外来収益	2,803,348,715
	その他の医業収益	289,108,517
	合計	8,925,278,726
医業外収益	一般会計繰入金	1,020,000,000
	補助金	33,721,000
	その他の医業外収益	169,574,639
	合計	1,223,295,639
特別利益	過年度損益修正益	118,501,247
	その他	612,010
	合計	119,113,257
収益合計		10,267,697,150

平塚市民病院 経営改革マニフェスト



平塚市民病院は、今年4月から地方公営企業法を全部適用し、病院経営の全責任を病院事業管理者に任せることになりました。

病院事業管理者には、元伊勢原協同病院院長の別所隆氏が就任し、7月に「経営改革マニフェスト」を発表しました。

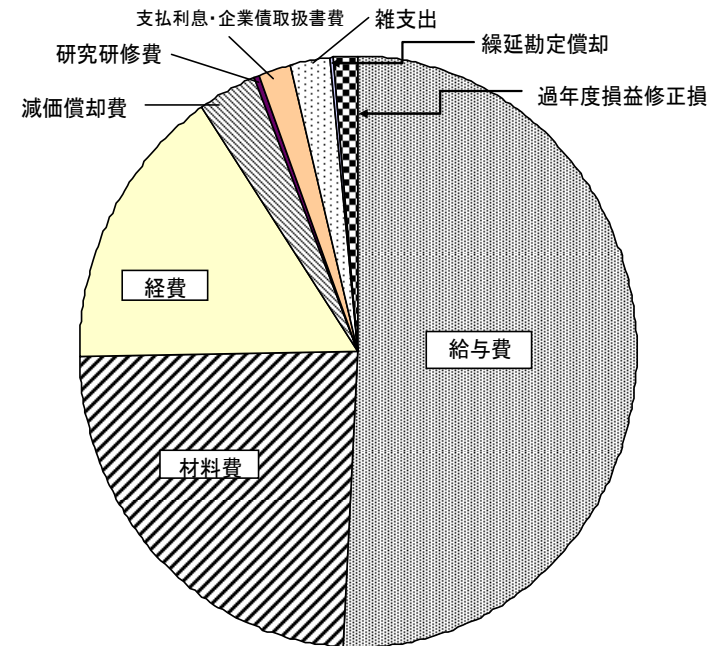
事業管理者別所氏はマニフェストの冒頭、「4年間の任期の中で全力で責務を全うしていく」との覚悟を語られています。

公立病院を取り巻く環境は大変厳しく、しかし、公立といえども採算性を度外視できない。将来にわたって市民病院が発展していくためには経営改善が必要であり、外科医としての「メス」を入れていきたいと述べられています。

- 安全で質の高い医療の提供
- 患者本位の療養体制の整備
- 経営改革の実施

という3つの大項目の中に、救急医療を充実させ、24時間365日の受け入れを目指す。救急搬送患者の受け入れ体制を充実させる。がん診療の連携拠点病院の指定に取り組む。より専門性の高い医療を提供できるように医師、看護師、医療スタッフの研究・研修体制を充実させる。など多くの改革指針が示されました。

2009年度 平塚市民病院事業決算 事業費



市民病院事業費用 単位:円

医業費用	給与費	5,213,674,125
	材料費	2,457,599,349
	経費	1,622,126,607
	減価償却費	335,536,766
	資産減耗費	3,253,287
	研究研修費	20,958,756
	合計	9,653,148,890
医業外費用	支払利息及び企業債取扱書費	216,509,663
	雑支出	200,138,355
	繰延勘定償却	57,275,376
	合計	473,923,394
特別損失	過年度損益修正損	132,260,840
	その他特別損失	0
	合計	132,260,840
病院事業費合計		10,259,333,124

2009年度の病院事業会計

事業収入：102億6769万7150円
 事業費：102億5933万3124円
 以上の結果、単年度では836万余円の純利益となり、これまでの累積未処理欠損金は47億1091万余円となりました。
 病院経営の指標となる「医業収支比率」は92.5%で、前年度より0.2%改善しました。
 ※「医業収支比率」95%以上であれば経営上問題はないと言われている。19年度の全国平均は500床以上92.5%、400-499床が90.3%である。（2009年8月の病院運営審議会会議録より）

《地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率及び資金不足比率》って？

県や市町村の財政を適正に運営することを目的として、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」が平成19年6月に公布され、総務省から財政健全化の基準が示されました。

いままで地方公共団体の一般会計で赤字額が標準財政規模の20%を超えるといきなり財政再建団体となり、イエローカードともいえる前段がありませんでした。また、特別会計や企業会計にいくら累積赤字があっても財政再建団体とならないなど、地方公共団体全体の姿を反映したものではないということが指摘され、この財政健全化法がつけられました。これによって2段階で財政悪化をチェックし、特別会計や企業会計も併せた連結決算によって全体の財政状況を市民に明らかにしようというものです。

病院事業会計の資金不足比率

比率名	H21年度	H20年度	経営健全化基準	説明
①資金不足比率	—	—	20%	資金の不足額を事業の規模で除して得た比率

資金不足比率については、資金不足が生じていない場合は、「—」で表示される。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額 (1,425,329 千円)}}{\text{事業の規模 (8,925,279 千円)}}$$

公衆衛生活動の状況

項目	件数			活動内容
	H21年度	H20年度	H19年度	
栄養指導	2,380	2,413	1,776	糖尿病患者の栄養指導
乳幼児健康診査	756	784	793	8～10ヶ月児健康診査など
妊婦健康診査	4,577	1,785	663	妊婦の健康診査
婦人がん集団検診	132	130	109	教職員子宮がん検診
母親教室	539	556	538	産前・産後の妊産婦対象
乳児健康診査(股関節関係)	386	394	436	股関節状態の診査と早期治療指導
健康診断	2,620	2,361	2,274	一般(入学・進学)・職員
予防接種医師派遣	0	2	1	各種予防接種に医師派遣
予防接種	4,443	2,245	2,251	麻疹、破傷風、インフル他
人間ドック	1,060	1,075	1,451	人間ドック
老人保健法によるがん精密検査	172	97	135	胃がん・大腸がん・肺がん子宮がん、乳がんの二次検査
臍帯血採取	108	127	134	臍帯血バンクに納入
ED外来	36	22	24	男性性的障がい者への指導

「市民から信頼される市民病院」へ！

「今後も、自治体病院として、生命と健康を守る地域医療体制の中核として、わざわざ市外へ行かなくても、平塚市内で、高度、かつ、安全な医療を行えるよう努力を続けます。」と病院長はホームページで語っています。

しかし、今月開かれた市民病院運営審議会で「人間ドック」を廃止すると…。その理由は、「近隣には東海大学病院検診センターをはじめ多くの医療機関がある」からとしています。

採算は考えなくてはいけないことですが、採算を優先させ1000人からの利用者がいる人間ドックにメスを入れるのは、「生命と健康を守る地域医療体制の中核」とはかけ離れてしまいます。

地域みんなで祝った「金田敬老福祉まつり」

17日に、金旭中学校のブラスバンド、金田保育園児の遊戯、そして金田福祉村と地区社協、ボランティア団体が一体となった踊り(花笠音頭や金田音頭など)で、地域の高齢者の方々を祝福しました。「金旭中学校ブラスバンドの生演奏が聞きたい」という要望にこたえ、学校行事と重ならないこの時期まで「敬老祝賀会」を延ばして、素晴らしい演奏をみなさんに堪能していただきました。主催者の温かい心遣いが伝わってくる行事でした。(松本)

